

【筑後市】

１人１台端末の利活用に係る計画

１ １人１台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

小学校は、６年間の計画的・継続的な教育指導により個性や創造性を伸ばし、幅広い年齢層の児童と一緒に学校生活を送る中で、社会性や豊かな人間性を育むことを目標にし、選択の幅を広げる教育を進めている。

中学校は、１人１台端末と個人アカウントへの紐づけから、各授業において ICT 端末の活用が進み、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等の取組を進めている。

また、高速大容量の通信ネットワークを活用して、授業内に留まらず、オンラインで学校外とつながることにより学習活動の幅を広げて、協働的な学びの実現に寄与することを目指している。

２ GIGA 第１期の総括

GIGA 第１期の整備により、全ての学校に高速大容量のネットワークを整備し、１人１台端末を授業や学校行事等で目標を達成するための学びのツールとして、また、自習学習やグループ学習などの場面で効果的に活用している。

タブレット端末の破損等による故障対応に多くの労力を要しているため、第２期ではヘルプデスク等のサポートの外部委託を検討しており、学校と教育委員会の双方の負担を軽減するとともに、ICT 環境の一層の充実を図る。

３ １人１台端末の利活用方策

１人１台端末を用いて社会性や豊かな人間性を育むことを目標としている。

ドリル系の学習アプリ等を通した個別最適な学びから、教員が生徒の進度や理解度を把握したり、オンラインを通して、自ら調べ作成したものをグループを通じて発表するなど、協働的な学びをより一層充実していく。

不登校や病気療養等により登校が難しい児童生徒への学びの保障として、オンライン会議システムの利用や、リモートによる授業への参加、オンデマンドで配信される授業を視聴するなどの対応を検討している。

学習アプリや大型提示装置の活用により、個々の意見や思考のプロセス等を視覚化し、他者参照ができる環境を整えることで、児童生徒同士や教員と児童生徒との対話を促進する。